

セラミックファイバーによる断熱性UP

特徴

断熱性が高い

耐火断熱レンガと比べて熱伝導率は1/2以下→省エネ

蓄熱量が少ない

蓄熱量が少ないため、処理材料の温度精度が向上。
また、製品の品質向上と省エネルギーに利点があります。

スポーリング抵抗大

耐スポーリング性が大きいいため、急激な温度変化に対応できます。

シーズニング時間短縮

熱処理炉用に使用した場合、シーズニング時間の短縮が可能です。(表面コーティングしない場合)

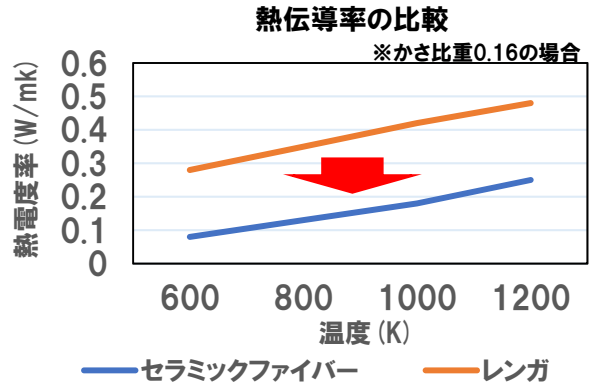
乾燥時間不要

表面にコーティングをしたり、裏面にモルタルを使用しても乾燥時間の短縮が可能です。

施工性

レンガに比べ、軽量かつ柔軟性があり、施工性に優れる。

レンガをセラミックファイバーに置き換えることで省エネに貢献。
また下記グラフのように炉壁断熱材の厚みを抑えることも可能です。



断熱材構成による放熱の差

